

科 目	言語文化	学年・類型	2年 普通科	単位数	2
教科書	高等学校 新編 言語文化 (第一学習社)				
副教材等	なし				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を養います。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めます。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。 				
観点別 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「話すこと・聞くこと」の領域において、自分の考えをしっかりと伝える力、相手の言っていることをしっかりと理解する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めている。「書くこと」の領域において、適切に文章を作成する力を伸ばし、自分の思いや考えを適切に相手に伝えている。「読むこと」の領域において、適切に内容を読み取る能力を伸ばし、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付けている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。		
評価方法	各学期末は観点別評価と評点で、学年末は観点別評価と評点及び5段階評定で評価します。観点別評価はA・B・Cの3段階で総合的に評価します。「知識・技能」は定期考査、小テストなど、「思考・判断・表現」は定期考査、レポート、授業中の発表内容など、「主体的に学習に取り組む態度」は提出物や授業態度などを基に評価します。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	小説を読む一	<ul style="list-style-type: none"> 描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を理解します。 「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取ります。 			
	古文入門	<ul style="list-style-type: none"> わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解します。 			
	詩の楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> 近代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品に示された作者の思いを読み取ります。 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品に込められた作者の思いを読み取ります。 			
	古文に親しむ	<ul style="list-style-type: none"> 現代に通じる人間の在り様を味わいながら、古文の世界への親しみを深めます。 			
二 学 期	小説を読む二	<ul style="list-style-type: none"> 主人公の行動や心理から場面の展開を捉え、登場人物の語る論理が主人公の決断に与えた影響を読み取ります。 			
	物語を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 和歌を含む物語の読み取りを通して、古文への興味・関心を広げます。 			
	短歌と俳句	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化の一つである短歌と俳句の鑑賞の仕方を理解し、近現代を代表する歌人や俳人の作品を味わいます。 			
	随筆を読む	<ul style="list-style-type: none"> 作者の関心事を自由につづった文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方的一端に触れます。 			
三 学 期	小説を読む	<ul style="list-style-type: none"> 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解きます。 			
	漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知ります。 			
	和歌と俳諧	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解します。 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞の仕方を理解します。 俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えます。 			